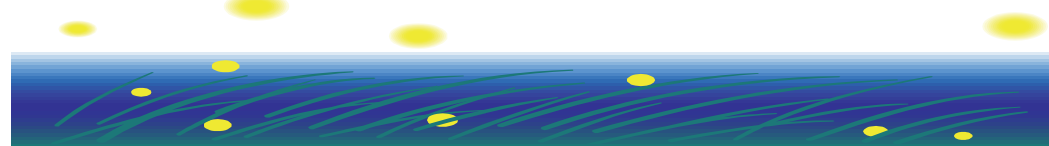


いきもの通信 No.129 号にて、一部誤って「コガタズメバチ」と記載してしまいましたが、正しくは、「キイロスズメバチ」です。ここにお詫びし、訂正させていただきます。

🍏 特別観察会「ホタルの夕べ」のご案内 ホタルが現れるのはどんなところかな？コウノトリの郷公園でホタルを観察してみよう。

日程：平成20年6月13日(金) 19:30~21:00
対象者：小学生~一般
(小学生以下は保護者同伴が望ましい。また、中学生以下のコウノトリの郷公園までの交通手段については、保護者で対応願います。)
定員：30名
内容：お話「ホタルの生活」、観察
応募締切：平成20年6月11日(水)ただし、定員になり次第締め切ります。
保険料：21円
申込方法：次の～を明記したハガキ・FAX・E-mailのいずれかでお申し込みください。
郵便番号・住所 氏名(ふりがな) 生年月日
電話番号 「ホタルの夕べ」への参加を希望
*個人情報は保険の手続および緊急時の連絡以外に利用することはありません。



🍏 飼育コウノトリの繁殖状況 (2008.05.31現在)

飼育ケージでの繁殖状況

親鳥	場所	育雛状況(羽)		備考
		巣の中	計	
Bペア	センター	1	1	Tペアのヒナ
Rペア	郷公園	1	1	
計		2	2	

三木放鳥拠点での繁殖状況

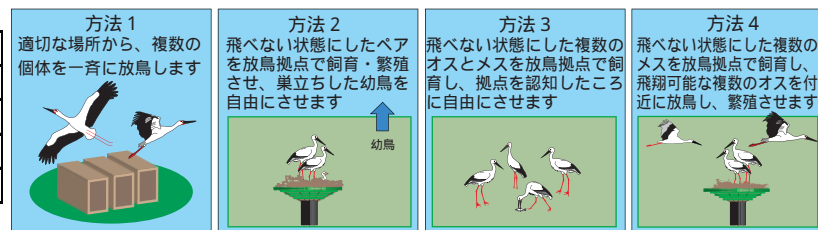
親鳥	育雛状況(羽)		備考
	巣の中	計	
Lペア	2	2	RペアとWペアのヒナ

🍏 コウノトリの羽数 (2008.5.31現在)

三木放鳥拠点にいる親鳥(Lペア)は、「飼育コウノトリ」として数え、孵化した2羽のヒナは放鳥されるコウノトリであるため「野外等にいるコウノトリ」として数えます。

飼育コウノトリの羽数

	オス	メス	不明	計
コウノトリの郷公園	28	33	1	62
コウノトリ保護増殖センター	17	18	1	36
三木放鳥拠点(方法2:H19.9.30着手)	1	1		2
計	46	52	2	100



野外等にいるコウノトリの羽数

年	放鳥方法等	放鳥実績/野外での繁殖				回収/収容				死亡	備考	野外現存数		
		放鳥、着手、巣立ちまたは孵化した日	オス	メス	不明	合計	オス	メス	オス				メス	不明
試験放鳥	H17 方法1	平成17年9月24日放鳥	2	3		5	1	1				J0290回収、J0232死亡	3	
	方法4	平成17年9月30日着手		2		2		2				ペア不成立のため回収		
	方法2	平成18年7月14日、21日巣立ち	1	1		2							2	
	H18 方法1	平成18年9月23日放鳥	1	2		3							3	
	方法3	平成18年9月24日放鳥	2	2		4							4	
	H19 方法1	平成19年9月22日放鳥	2	1		3							3	
方法3	平成19年9月23日放鳥	1	1		2							2		
H20 方法2	平成20年5月25日(確認)三木放鳥拠点で孵化		2		2							三木放鳥拠点から巣立ち予定	2	
野外での繁殖	H19 -	平成19年5月19日野外で孵化		1		1							平成19年7月31日巣立ち	1
	-	平成20年3月22日(確認)野外で孵化			3	3							百合地地区の人工巣塔	2
	-	平成20年4月20日(確認)野外で孵化			1	1							福田地区の人工巣塔	1
	-	平成20年4月28日(確認)野外で孵化			3	3							戸島地区の人工巣塔	3
	-	平成20年5月1日(確認)野外で孵化			1	1							保護増殖センター第4ケージ屋根の上	1
	-	平成20年5月14日(確認)野外で孵化			3	3							伊豆地区の人工巣塔	1
合計			9	13	13	35	1	2	1	0	3		28	

問い合わせ先
兵庫県立コウノトリの郷公園
〒668-0814 豊岡市祥雲寺字2ヶ谷128番地
TEL: 0796-23-5666
FAX: 0796-23-6538

E-mail : kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
URL : http://www.stork.u-hyogo.ac.jp
開園時間：9:00~17:00
休園日：毎週月曜日(休日に当たるときはその翌日)
リサイクルペーパーを使用

ベビーラッシュ

先月号で紹介しました百合地地区、福田地区、戸島地区に続いて、保護増殖センター(野上)第4ケージ屋根の上、伊豆地区の人工巣塔でもヒナの孵化がありました。さらに段階的放鳥に着手している三木放鳥拠点でもヒナの孵化があり、豊岡市内は賑やかになってきました。今月号では、5月1日から5月31日までの野外における繁殖状況をお伝えします。

4例目は保護増殖センター第4ケージ屋根の上で

放鳥コウノトリ J0362(2003年生れ、メス)と J0001(2006年生れ、オス)のペアが、豊岡市野上にあるコウノトリ保護増殖センターの第4ケージ屋根の上に巣を作り産卵していました。そして、5月1日に1羽のヒナが孵化していることを確認しました(写真1)。今年の繁殖期における野外でのヒナの孵化は、4月28日豊岡市城崎町戸島地区の人工巣塔で孵化した3羽に引き続き4例目となります。ところで、今回の



写真1 ヒナと J0362 (5月13日撮影)

孵化は大きななぞにつつまれています。繁殖行動をしたペアのオスは、やっと2歳になり、今までの記録から考えると性成熟年齢に達していません。ですから、卵は無精卵であろうと推測していたにもかかわらず、ヒナが誕生したのです。このペアのメスと最初仲良くしていたオスは、1ヶ月前に妹との繁殖を避ける目的で、ケージの中に回収しています。このオスが親鳥である可能性もあるので、今後DNAを用いて父性の確認を行う予定です。

なお、案内の様子は豊岡市立コウノトリ文化館多目的ホール、及び豊岡駅通商店街にあるサングラスでライブ中継され、元気に成長しているヒナをご覧いただくことができます。

5例目は伊豆地区の人工巣塔で

豊岡市出石町伊豆地区の人工巣塔で放鳥コウノトリ J0296(2001年生れ、メス)と J0381(2004年生れ、オス)のペアが3個の卵を産卵していましたが、5月13日に親鳥の吐出行動が観察されました。翌14日に高所作業車により巣の中を観察したところ2羽のヒナが孵化していました。その後も観察を続けていたところ、5月19日に人工巣塔の下に1羽のヒナの死